

6年生No.2

八王子市立 館小中学校
図工専科 大木 紅葉

運動会で応援団、組体操、係の仕事に懸命に取り組んでいる6年生の姿はとても立派でした。

「わたしたちの学校」

4月から取り組んでいる「わたしたちの学校」の作品を昨日の授業でほとんどの子が完成させました。作品が完成したので、作品に題名をつけて感想カードを書きました。子供たちには、題名までが作品であることを伝えました。

「自分の作品のよさを伝えるにはどのような題名をつければいいのかな。」「どの辺りを工夫して、どこが大変だったのかな。」ということを考えて感想カードを書きました。ここで、似ているようで全く違う作品を紹介します。

『さくらと青空』

大変だったところはいっぱいありますが、とくにがんばったのは・・・「かげ」です。なぜかという・・・何色をつかおうかすごくまよいました。なぜこの題名にしたかという・・・やっぱりさくらは青空のほうがキレイ！ だと思
ったし、この作品にピッタリ！ だと思っ
てので、この題名
にしました。（略）」



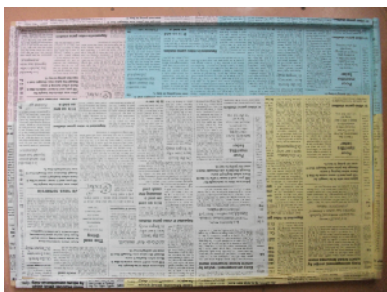
『どんな天気でも力強く！』

私は大きな桜と小さな花の両方に注目しました。あえて、比かくするようにかきました。そして、背景もわざとくもり
にしました。 なぜかという
と、写真をとった日もくもり
だったし、植物はどんな天気でも力強く生きているという
ことを伝えたかったからです！（略）
かすかに太陽があるので、ちゃんとかげをつけようと思って重ねぬりをしたのが一番の工夫でもあり、一番苦労したところです！」



なるほど！どちらの作品も、何故晴れにしたのか、何故くもりにしたのか、きちんとした理由があるのですね。どちらの理由も素晴らしい理由ですね。このように、自分の想いを作品に込められるといいですね。

「オリジナル・ガクブチ」



「わたしたちの学校」の作品が完成したので、その作品を飾るための額縁をつくりました。世界に一つだけの、自分だけの額縁です。

ダンボールと角材で形をつくり、英字新聞でコーティングしました。印刷室にあった要らなくなったプリントの裏に英字新聞を印刷して紙を再利用しました。図工でもエコを意識しています。」